

# 平成30年度 山王小学校学校経営計画

## 「心身ともに健やかで、自ら課題を発見・解決する児童の育成」 教師も子どもも「笑顔・声かけ・思いやり」

### 1 学校経営方針

児童自らがもっと学ぼう、もっと知ろうとする意欲を育てたい。それが自ら課題を発見・解決する児童の育成につながる。そのために、落ち着いた雰囲気、学習環境を構築し、わかる・楽しい授業を展開することが求められる。さらに生活面、学習面共に児童同士が関わり合い、建設的な妥協点を探し、互いに納得できる解を得ることができるよう人間関係作りも重要な下支えとなる。

安易な前例踏襲はせず、全員が学校経営参画意識を持ち、同じベクトルで取り組むことが学校経営計画を具現化することにつながると考える。教師が成長することで学校力が強化され、子どもが伸びることにつながる一年間をすごしましょう。どうぞよろしくお願い致します。

### 2 教育目標と目指す姿

教育目標		心身ともに健やかで、自ら課題を発見・解決する児童の育成		
重点項目				
① 学校力の強化 ↓		② 学力向上 ↓		③ 教師力の向上・若手育成 ↓
目指す学校像		目指す児童像		目指す教職員像
○地域・保護者や児童の期待にこたえられる学校		○たくましく 元気な子 [体と心の強さを持った、たくましい子]		○たくましく元気な教師 [やる気と情熱を持ち、教育にあたる たくましい教師]
○声高らかに、あいさつと歌声が響く学校		○仲良く 心の豊かな子 [互いのよさを認め、相手の立場を 思いやれる子]		○仲良く 心の豊かな教師 [組織の一員として責任感や協調性のある 教師]
○廊下は走らず落ち着いた行動し、整然とした集会ができる学校		○よく励む かしこい子 [知恵と工夫を使い、課題を発見・ 解決する子]		○よく励む かしこい教師 [知恵と工夫を使い、授業改善を続ける 教師]
④ 環境整備				
学校環境5S 整理・整頓・清掃・清潔・躰				

学校経営計画の具現化のために・・・

- 1 徹底すること    2 可視化すること (情報の共有)    3 検証すること

RPDCA

### 3 教育方針

- (1) 国・県・市がめざす学校教育ビジョンの方向性を踏まえ、心身ともに健康で、自ら課題を発見し、解決しようとする児童の育成を目指す。
- (2) 教育目標の実現に向けて、教職員は常に研鑽を積み、教師力の向上を目指す。また学校の組織の一員としての自覚を持ち、すべての職員ですべての児童を育てる意識を持つ。働き方改革を意識し、計画的に仕事を進めることを心がける。
- (3) 若手早期育成プログラムの視点に立って、現場で若手を育成する。若手を育成すると共に中堅・ベテランの教師力向上につながるOJTを実践する。

### 4 短・中・長期的目標

- (1) 信頼される学校：常に開かれた学校を目指し、保護者や地域に信頼される落ち着いた学校づくりを行う。  
(短) 先挨拶 廊下を走らない 整然とした集会・学年集会 ふわふわ言葉のやり取り 大きな声で歌う全校音楽
- (2) 学力向上：「いしかわ学びの指針12か条+」を踏まえて、学力向上ロードマップをいかして、自ら課題を発見・解決することができるようになるために、基礎基本、活用力を育成し、実践させる。そのために分かる授業づくり・学習基盤づくり・組織的な指導改善に努める。  
(短) 山王スタイルの確立 (学習計画・評価・学び合い) 単元テスト達成率70% 学習規律の徹底
- (3) 生徒指導の充実：社会に生きる人間として求められる責任やモラルを身につけ、人を思いやる温かい心を持った児童に育てる。いじめの早期発見に努め、迅速に対応する。  
(短) 毎日の声掛け、いじめアンケート、生活アンケート、全員面談をいかして児童との信頼関係を結ぶ。QUテストでクラスの間人間関係を把握し、温かい人間関係の基礎を構築する。
- (4) 健康でたくましい体作り：自分の体や安全に関心を持ち、健康でたくましい体を作ろうとする児童を育成する。  
(短) 朝マラソン参加率95%以上を目指す。全避難訓練の実施。毎月の安全点検の完全実施。

## 5 重点項目

### ①学校力の強化

#### ◇落ち着いた学校づくり

- ① 廊下を走らない、整然とした集会ができる、その場に応じた声の大きさを意識できる等、落ち着いた学校づくりに児童自ら取り組もうとする意欲を育てる。

#### ◇開かれた学校づくり

- ① 様々な機会や方法で、学校の取組を保護者や地域に責任を持って報告する。
- ② 七尾東部中学校及びその校区の3つの小学校、山王校区の保育園との連携を図る。

#### ◇職員の学校運営組織への主体的な参画

- ① 組織の一員であることを常に忘れず、「チーム山王」として、それぞれの立場やその責務を自覚し、主体的に職務にあたる。（+αの仕事も心がける）
- ② 「報告・連絡・相談・記録」を怠らない。

### ②学力向上

#### （1）わかる楽しい授業づくりの工夫

- ① 新学習指導要領を意識
  - ・教科横断的な資質・能力（自分の行動を調整する、生き方を主体的に選択できる、コミュニケーションをとる力、自覚して行動する力など）を意識した授業設計を行う。
  - ・学び合いを意図的に仕組み、児童主体の授業に取り組む。週案に明記する。
- ② 山王学習スタイルの確立と共通実践
  - ・児童をわくわくさせる導入、学び合い、振り返りを位置づけた「分かる・楽しい授業」の山王スタイルを確立する。予習学習、児童主体の授業、ルーブリック評価、ゴールの見える学習計画の作成等を位置づける。
- ③ 基礎・基本の徹底
  - ・帯タイム、放課後補充、家庭学習を連動させ、全職員で計画的に取り組む。
- ④ 活用力の育成
  - ・学力調査の結果を分析し、求められている能力を明らかにし、課題克服マトリクスを修正し、授業にいかす。
- ⑤ ICTを積極的に活用し教育効果をあげる。
- ⑥ ワークスペース・学習室の運営
  - ・ワークスペース・学習室に学習のための多様な教材、並行読書教材等を用意し、教科の進行に対応した掲示・展示を行うことで学習内容に対する興味を持たせ、学習に対する動機づけをする空間を創出する。
  - ・学習形態を変化させ、児童同士が関わり合える学習の場を設定する。
- ⑦ 外国語活動の充実
  - ・拠点校として、3、4、5、6年外国語活動、1、2年学校行事における英語表現の研究を推進する。
  - ・English day, English Festivalを活用した日常的に英語が飛び交う空間、雰囲気作りに取り組む。

#### ◇道徳教育の推進

- ① 問題解決や体験的な学習を取り入れ、「考え、議論する」道徳教育を推進する。
- ② 道徳教育推進教師を中心に、「道徳の時間」の充実を核として、教育課程全般において善悪の判断能力を高め、互いの良さを認め尊重しあう心情を育てる。

#### ◇学校図書館の充実と読書指導の推進

- ① 朝読書の時間の設定、「読み聞かせ」や「読書パーティ」等を充実させ読書の楽しさを味わわせる。
- ② 授業での利用を含め、学級担任と連携し、図書館利用を推進し、児童の読書量を増やす。
- ③ 並行読書を国語科の単元計画に位置づけ、単元を通じた言語活動の充実を図る。

#### ◇ふるさと教育の充実

- ① 環境教育活動・伝統文化を継承する体験学習を通して、ふるさとに対する誇りを持たせる。

#### （2）生徒指導の充実

#### ◇一人一人を大切に生徒指導

- ① いじめ問題対策チームを核に、いじめ防止や早期発見・早期対応・再発防止に向けた取組みを計画的に行う。
- ② 生活アンケートやQ Uテスト、面談を通して、子ども一人一人の個性や人間関係を把握し、常に全職員で全児童を育てていく。
- ③ 生徒指導面での「言語活動の充実」
  - ・正しい言葉遣いと敬語表現、日常的な挨拶の励行、指名したときの返事「はい」。

- ・教職員，児童相互，来賓，保護者への挨拶の徹底。
- ③ 生徒指導における「三つの視点」を意識する
- 【自己決定】
- ・学習規律の徹底とゴールを意識させ，選択肢のある授業展開を心がける。
  - ・ワークスペース，廊下等でのふるまいを意識し，まわりを考えて行動できる児童を育てる。
- 【共感的理解】
- ・目を見て，笑顔で，大きな声でのあいさつ運動を児童主体で行い，「おはよう」「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言える雰囲気作り，心育てをする。
- 【自己存在感】
- ・学校行事と縦割り班活動を連携させ，児童主体の活動の活性化を図る。
  - ・「ほめる・励ます」の声かけや作品へのコメント付で自信を持たせる。
  - ・きらきら山王っ子，自学大賞，パーフェクト賞，無言清掃のポイント，家庭学習の掲示等，褒めることの継続。

#### ◇日常生活の規律の遵守

- ① あいさつと無言清掃の徹底を図り，心を磨く。
- ② 常に「山王っ子宣言」を意識させ，規範意識の醸成を図る。

#### ◇特別支援教育の充実

- ① 児童の実態を正確に把握し，一人一人のニーズに応じた支援を行う。（合理的配慮への理解）
- ② 交流学习を大切にし，全校児童に思いやりの心や，ともに生きる心の育成を図る。
- ③ 特別支援学級の研究授業から学び，ユニバーサルデザインを実践する。
- ④ 特別支援コーディネーターを中心に，全教職員で研修し共通理解を図る。

### （3）健康でたくましい体作り

#### ◇保健体育と安全教育の推進

- ① 自分の健康，食生活に関心を持ち，望ましい健康的な生活・食習慣を自ら確立しようとする能力や態度の育成を目指す。
- ② 七尾市の生活アンケートから明らかになった本校児童の実態をふまえた保健指導，食育の改善に取り組む。
- ③ 児童が意欲を持って取り組む朝マラソン，スポチャレや体力アップ1校1プランを実施する。
- ④ 食育を重視し，家庭との連携の中で望ましい食習慣を身につけさせる。

#### ◇校舎内外の安全対策の推進

- ① 危機管理マニュアルの整備など，有事の際の対処法を確立しておく。
- ② 定期的に校内の安全点検を行い，事故の原因を作らない。
- ③ 各種避難訓練等を通して，自ら自分の身を守るという安全意識の啓発を図る。
- ④ 家庭・地域・警察等との連携により児童の安全確保を図る。

### ③教師力の向上・若手育成

#### ◇育成したい力を意識すること

- ① 若手教職員が自分の課題やその改善方法を明らかにし，今後の目標を明確にする。

#### ◇組織的に取り組むこと

- ① 中堅，ベテラン教師が必然的に関わられるような体制を作る。
  - ・個別の実施計画，チェックリストをチームで共通理解し，中堅・ベテランの参画意識を高める。
  - ・校内サポート事業等を活用し，若手集団で指導案検討会や学校の課題解決会を持つ。

#### ◇同僚性の強化を図ること

- ① 若手教員を学校経営に主体的に参画させる。
  - ・若手教員の斬新な発想や企画力を学校運営に生かす。中堅・ベテランがその場その場で支援する。

#### ◇OJTの場の設定

- ① 研修の場の確保
  - ・山王塾と校内研究，学力向上ロードマップのチーム会議の時間を活用する。山王塾ではベテランの教育技術をいかした若手への指導，校外研修受講者を講師に最新の教育事情を学ぶこと，を重視する。

### ④落ち着いた学校にするための5S

#### ◇整理・整頓・清掃・清潔・躰（元の場所に確実に戻す）

- ① 見えないカリキュラムの児童への影響を意識し，5Sに努める。